
絆（ほだし）

吾妻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絆^{ほだし}

【コード】

N19700

【作者名】

吾妻

【あらすじ】

私にも高校時代に格別の友人がいた。

友人の家は十四代続く医家で、古くは地元藩主の専医だったらしい。友人の父・祖父・曾祖父が東大・東京帝大の医者であったからだろうか。

友人も、当たり前前の様に、東大理？を志望した。

友人はそれに見合うだけ頭がよかった。

正に神童だった。

誰もが友人の合格を疑わなかったその受験前の秋・・・

・・・友人は、死んだ。自殺した。

死（前書き）

とある地方で起きた実話をモデルにしています。
私の学校の一つ上の学年で起きた自殺事件です。

死

母は夕飯の買い物を買済ませ帰宅した。ふとその文字は母の目に映った。

『決して開けないでください』。張り紙が長男の部屋へや戸に張ってあった。

彼女は何の思慮もなしにその戸を開けた。

しばらくして次男が家に戻ると……母と兄は死んでいた。

私は友人とその母の御通夜から帰る途中、思うことがあった。

『彼は本当に死ななくては、自殺しなくてはならなかったのか』

物語ならば、総じてこの問への答えは『否』であろうが、

私はむしろ『これでよかったのではないか』とさえ思えたのである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1970o/>

絆（ほだし）

2010年10月8日22時56分発行